



森のなかま

2016年11月号

NO. 103 (継続248号)

事務所が移転しています!!

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

森林部会 平成28年度『除伐・里山整備研修会』が開催されました

日時：9月25日(日) 10:15~15:10 晴れ時々曇り場所：伊勢原市三ノ宮所在「ひじりの森」(エリアA)

《 森林部会 斉藤 夏葉 13期 》

雨の多かった9月だったが、当日はお天気に恵まれ「ひじりの森」で除伐作業の指導方法の習得と実践の研修を行った。

伊勢原駅 9:30 発のバスに乗り、バス停から徒歩でひじりの森へ移動。登山道脇広場へ到着するころには汗だくになるくらい蒸し暑い。身支度、オリエンテーション、集合写真撮影に続き、10:30から講義。講義では除伐とは何か、ひじりの森における目標林型と除伐方法の説明、県民参加の森林づくりおよびネットワーク活動でのインストラクターとしての指導ポイント、安全への配慮などについて説明があった。各現場での整備方法に沿った指導ができるよう、インストラクター自身が目標林型と当日の除伐対象木を確認、理解し、参加者へ解説することが求められる。

11:00 から全員で体操を行った後、各班に分かれて午前の作業実習。昼休みにはこれまでの除伐の経験で気がついたことやヒヤリハットなどを各自用紙へ記入。

午後は12:30から2時間程班毎での実習。参加者はインストラクター役を交代で務め、除伐作業における指導方法と基本的技術の両方を会得、再確認した。作業後の現場は明るく見通しが利くようになり、参加者の遣り甲斐の声も印象的であった。

作業終了後は意見交換と講評。ここでは部会長より、昼休みに各自が記入したシートの内容についてのまとめの発表があった。

また講師より、現場でどこから手を付けるかの判断、どこで鉋・鋸を使うのか受け口の要否、作業効率を考えての人員の振り分けの大切さ、なぜ伐根をできるだけ地際で切るか、などについて話があった。

15:10には解散、徒歩でバス停へ移動し本日の研修会は無事終了した。

今回の研修を通してインストラクターとしての指導方法や安全管理について、また実際の除伐作業の方法、注意点などを再確認できた。各自のスキルアップにつながる研修会であった。

(次ページに続く)



講義風景



班に分かれて現場へ移動

本日の「お邪魔虫の木」は
細いアラカシとアオキ

鉈(ナタ)を使って杭を作る



ロープと掛矢(カケヤ)を使って杭を打ち込む



チームワークで効率的に作業



作業終盤、光が差し込むようになった



意見交換・講評、お疲れ様でした



講師： 足立氏④、佐藤氏⑤、富樫氏⑥、有坂氏⑧、松永氏⑪ 幹事： 足立④、滝澤⑤、斉藤⑬
 参加： 菊地①、野牛⑧、水津⑨、辻村⑨、大澤⑩、宮下⑩、安井⑫、宇田川⑬、江頭⑬、
 江上⑬、北村⑬、武井⑬、岩田⑭、木村⑭、國弘⑭、立花⑭、谷⑭、西岡⑭、水野⑭



森林文化部会 『柿渋塗り体験』
 日時： 9月18日(日) 場所： やどりき水源林休憩棟
 参加者 12名(会員)

《 記&写真：
 森林文化部会 井出 恒夫 1期 》

過去、森林文化部会では、紙すき、草木染め、炭焼きなど、先人の知恵を学ぶ体験教室を実施してきました。そして、2012年に柿渋液作り、2015年に鎌倉彫体験を行いました。今年はそれら作品を持ち寄り、柿渋塗り体験を行いました。

柿渋液は4年間でかなり熟成しました。しかし、製作時の水の配合量や、貯蔵する環境でかなり熟成度合に違いがあります。今回は、自作の柿渋液と市販の柿渋液を配合して塗布液にしました。鎌倉彫りや、竹の容器、布バッグなどに、乾燥を交え数回塗布して完成。

柿渋は時間がたつに従い独特の風味が増して行きます。作品の今後の成長が楽しみです。

鎌倉彫等の作品に柿渋塗り



自然観察部会（水源環境保全・再生市民事業支援）

第84回森林探訪「箱根滝めぐり」～健脚向き 花のハイキング～

9月22日（木・祝）、雨、参加者33名 場所：箱根湯本駅→畑宿→飛竜の滝→湯坂路・・・



飛沫をあげる飛竜の滝

《 自然観察部会 赤崎 さほり 12期 》

当日は、朝から雨が降り続き、とてもやみそうにもない幕開けでした。もうこれは、腹を括ってやるしかない、という気持ちで箱根湯本駅に向かいました。協力していただくインストラクターの皆様に、雨の自然観察という難しい課題になってしまったことが申し訳なく、参加者の方もいらっしやらないのではないかととても不安でしたが、集合時間が近づくにつれ、33名の方が集まってくださいました。箱根は、観光地として大変人気のある場所ですが、今回の森林探訪は、ちょっと観光コースからは外れており、初めて訪れたという方も多く、気に入ったので、晴れの時にもう一度歩いてみたいという意見もいただきました。

雨天のため、急な山道の下りを避けて千条の滝までは行かずに、飛竜の滝から湯坂路までの短縮コースになりましたが、飛竜の滝はいつもにも増して水量が多く、大変豪壮な様子で参加者の方に好評でした。また、湯坂路は秋の花が沢山咲いており、その美しさに一同感激いたしました。

その後、芦之湯・東光庵跡に移動して昼食、一旦解散にしましたが、希望者のみ元箱根石仏群を巡る、歴史散策をいたしました。急遽の変更でしたが、21名が参加され皆さま熱心に解説を聞いていらっしゃいました。お帰りの際は、雨だったが、大変満足していただけたようで一安心しました。協力していただいたインストラクターの皆様、本当にありがとうございました。また、これに懲りずに県民の皆様に箱根の自然の素晴らしさを伝える機会を作っていきたいと思います。

(写真撮影：女川 修⑨、小林 富二男⑩、内野 ミドリ⑨)

本編



雨にもかかわらず参加された方々
オリエンテーションと準備体操
8班に分かれて出発



柱状節理*の説明
*マグマが冷却固結する時に
生ずる柱状態の割れ目



飛竜の滝の散策路も
水が溢れている



人工林の中では、森林の話



湯坂路で植物の観察



全員揃って芦之湯に向かう
(コース変更)



芦之湯・東光庵の軒と神社の軒で昼食
遅い昼食となった

自由参加の元箱根石仏群探訪編



曾我兄弟の墓



岩に彫られた
数多くの摩崖仏

<NPO 法人 かながわ森林インストラクターの会>からのお願い



森林探訪

森林インストラクターと一緒に森林を歩き、自然を身近に感じる体験をしてみませんか。多くの方の参加をお待ちしています。<自然観察部会>

11月20日(日) 深秋の岳ノ台「ヤビツ峠周辺の登山道を歩こう」

(公益財団法人かながわトラストみどり財団と共催)

小田急・秦野駅 8時00分集合

コース：秦野駅→(バス実費)→ヤビツ峠→岳ノ台→菩提峠→ヤビツ峠→蓑毛

※15時30分頃解散予定 歩行距離 約8.5km

募集：11月13日必着 参加費：1,000円 みどりのトラスト会員証提示で500円

////////////////////

いずれも雨天決行、バス代個人負担です。状況によりコースの変更があります。

持物：昼食、飲み物、雨具など必要と思われるもの。

服装：ハイキングが出来る程度(長袖、長ズボン、帽子) 履き慣れた靴

募集人員：各80名

申し込み：往復はがきに、森林探訪名、開催日、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒252-0332 相模原市南区西大沼1-25-4

かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会 内野ミドリまで

問合せ 電話 042-758-5058 E-mail s-m-colt@vmail.plala.or.jp



森林文化部会 「こどもフェスタ2016」への出店

参加者 子ども95名 +保護者

日時:8月21日(日)10:00~16:00、

場所:茅ヶ崎市勤労会館

<森林文化部会 菊地 昭子 1期 >

スタッフ 井出①、落合③、白畑⑦、高橋⑨、内野⑨、赤崎⑫、菊地①

今年も茅ヶ崎市勤労市民会館主催の(こどもフェスタ2016)に森林文化部会で出店しました。今回は、夏休み工作教室として4団体が出店です。

森のクラフト教室として、書けないエンピツ、鶯笛、ぶんぶんコマ、エコマラカスの4種類です。樺の枝の先を尖らせて色を塗り書けないエンピツのストラップ、ヒノキの輪切りに二つ穴をあけてのぶんぶんコマ、細い竹の先を斜めに切り鶯笛、竹を輪切りにし中に大豆や小豆、トウモロコシの種を入れテープで止めてエコマラカスです。

時間前より始まり、午前中は人が途切れる事はなく、ぶんぶんコマ、鶯笛は時間前に終了しました。回を重ねるごとに来場者も増え定着してきたと感じました。



活動短信

今回の掲載は平成28年8/3～9/15です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



無料イラストより



涼風至 8/7～8/11頃
すずかぜいたる
涼しい風が初めて立つ
第三十七候 立秋 初候

鶺鴒鳴 9/12～9/17頃
せきれいなく
セキレイが鳴き始める
第四十四候 白露 次候

◆ 県民参加の森林づくり 除伐

- 日** 8月3日(水)9:00～14:00、曇り一時雨
- 場** 箱根町元箱根
- 参** 49名
- 財** 古舘様、鳥海様 **看** 小林様
- イ** L松永⑪、友谷①、柏倉④、山崎⑦、齊藤⑧、内野⑨
辻村⑨、小沢⑨、大澤⑩、小笠原⑩、波多野⑪、
東(昭)⑫、西出⑫、江上⑬、古舘⑬、小貝⑭
- 研** 相野谷⑭、鈴木⑭、鳥海⑭、羽鳥⑭

不安定な天候が続いて天気心配されましたが、朝から夏の日差しが有り、熱中症が心配される空模様でスタートです。除伐作業の場所は箱根高原ホテル様の駐車場隣接の60年生スギ県有林です。主としてアオキ、クロモジ、サンショウ、カシ類などの灌木を除伐して、サクラ、ヒメシヤラ、モミジ類を残します。将来的な姿は針葉樹と広葉樹がバランスよく生える生物多様性豊かな針広混交林を目指します。

全員でストレッチ体操をして5班に分かれて除伐作業を開始しました。作業は順調に進みましたが、途中から空模様が怪しくなり突然大粒の雨が落ちてきましたので、早目に切り上げました。参加者もインストラクターも全員びしょ濡れでしたが、温泉に浸かり汗と疲れを流して本日は終了です。

帰りのバスではみなさん気持ちよく眠っていましたので、いい夢を見ていたことでしょう。

(記 松永 廣 ⑪)

◆ 自治労神奈川県本部 下草刈り

水週間「森の下に何がみえますかPart20」

- 日** 8月5日(金)10:00～12:30、晴れ曇り
- 場** 秦野市ヤビツの森(水源協定林)

スタッフ 自治労 中島様 山田様

財 古舘様 **看** 小林様

イ L村井⑨、小沢⑨、松本⑪、大原⑬、木村⑭

天気は晴れ作業中曇りの不安定な状態で急な雨を警戒していたが雨は降らずかえって作業しやすい陽気となる。現地にて開会式=自治労様挨拶=インストラクター紹介・ヤビツの森の歴史をレクチャー・準備体操・道具の配布=5班に分かれて作業に入る参加者42名中10名が初心者、約1ヘクタールの広さを整備、草は1～1.5mあったが植樹木が2mを超えているので誤伐もなくまた経験者が多いので十分な整備の成果を上げられた、作業も1時間余りで終わり広場にもどり道具の手入れをおこない12:30分に湯花楽に向かう。

今回ヒヤリハットや怪我はなかったが参加者の1名がマビルの被害にあった。皆さん十分な対策をしていたので(気温30℃湿度60%の条件の中では)最小限の被害と言える。また今回20回目参加の方もおられ表彰されるなど自治労の方々の森林活動に対する関心の高さが伺えました。

(記 木村 勇 ⑭)



◆ 第15回やどりき水源林のついで

- 日** 準備8月10日、本番8月11日(木・やまの日)
- 場** 松田町 やどりき水源林
- 参** 497名(公式数字)
- スタッフ** 約100名 **看** 小林様
- イ** 準備37名、当日72名、計109名/エコトップ3名
L森本⑤、井出①、友谷①、菊地①、佐藤①、米本②、
渡辺③、高橋③、落合③、竹島③、高崎④、宮本④、
鈴木⑤、相馬⑤、滝澤⑤、斎藤⑥、北村⑥、須長⑥、
伊藤⑦、坂齋⑦、山崎⑦、武者⑦、白畑⑦、若林⑦、
武本⑦、渡部⑦、阿部⑧、有坂⑧、草野⑧、斎藤⑧、
久保⑧、内野⑨、小沢⑨、辻村⑨、村井⑨、水口⑨、
上田⑩、大澤⑩、杉崎⑩、松山⑩、宮下⑩、時田⑩、
中村⑪、福島⑪、松本⑪、大橋⑪、松永⑪、山下⑪、
一重⑪、大塚⑪、吉田⑪、上宮田⑪、澤村⑫、西出⑫、
赤崎⑫、永松⑫、大原⑬、古舘⑬、真部⑬、宇田川⑬、
江頭⑬、源島⑬、星野⑬、溝田⑬、立花⑭、笠原⑭、
黒川⑭、小林⑭、羽鳥⑭、藤井俊⑭、藤井世⑭、牧石⑭

山の日制定(8月11日)のキックオフイベントともなった今年のとどい。

約500名の来場者に恵まれ、無事故で終えられたことはありがたい。水源林トレッキング・水生生物観察・森林癒やし体験と森林交流会等、定番の出し物となったのは少し残念。やはり新しいことにチャレンジをしたいもの。

今回、県の広報番組である「かなチャンTV」の新規取材が入り、9/2にはオンエアされています。皆さま、ぜひ、ご覧願います。来年は、「水源列車」の運行や、究極のエコカーである「ミライ」の展示など、目玉となる新企画を検討してみたいと思いました。

(記 森本 正信 ⑤)

《尚、詳細は10月号1、2頁に掲載(済)されています》



◆ 神奈川県水道記念館

水源の森林観察会 (散策・水生昆虫観察)

日 8月18日(木)10:00~14:30、曇り 気温24℃

場 松田町 やどりき水源林

参 神奈川県営水道給水区域内の

一般県民29名(大人13名、子供16名)

スタッフ 神奈川県水道記念館北村様他計5名 看 小林様

イ L 藺田⑬、高橋③、小川⑬、大原⑬

前日の台風の影響で、寄沢の増水、散策路の状態が心配されたが、現地へ9時に到着し、散策路、寄沢の安全確認、水生昆虫観察の準備等を済ませ、参加者の到着を待った。参加者が到着、午前中は、林道を散策し、自然観察や、水源林の役割・保全意義等を話しながら、水源林に関心を深めて頂いた。林間広場、寄沢で、やどりきの自然を満喫しながら、家族ごとに昼食を楽しんでいただき、午後は水生昆虫の観察に入った。ところが、水生昆虫の採取を始めた矢先に、豪雨に見舞われ、集会棟へ避難することとなった。雨が止まないため、水生昆虫の観察を途中で中止し、集会棟にて、班ごとに、水源林の働き、寄沢の水生昆虫の話等を行った。今回、寄沢での水生昆虫の採取体験を十分にしてもらうことはできなかったが、個体数は少なかったが、御三家といわれる、カゲロウ、カゲラ、トビゲラに、ガガンボ、オタマジャクシ、カエルなどが観察出来た。参加

者が帰路のバスへ移動するころには、雨も止んでいた。

(記 大原 正志 ⑬)

◆ 神奈川県立21世紀の森

森づくり②「竹林整備と流しそうめん」

日 8月20日(土)9:15~3:30、晴れ時々雨

場 南足柄市 県立21世紀の森

参 7組 20名(大人11名、子供9名)

スタッフ 志鷹所長、辰巳様、平井様、山崎様

イ L 渡辺③、村井⑨、小沢⑨

台風の影響か！時折ざっと降る雨が心配です、竹林整備+竹細工と流しそうめん。管理運営責任担当の辰巳様進行によるオリエンテーリングが研修室でスタート。

インストラクター紹介等を終えて、リーダーにより参加者の皆さんに森林館に於いて、山のお話(午後の雨を鑑み竹林に入るかを検討)雨模様の為、午前中は竹細工でカタツムリの作成各家族へ竹鋸、選定バサミ、ボンド等を渡し、ナタを使用する部分ではインストラクターが対応。

10時30分より予め用意された竹材を使用しそれぞれの思いを込めたカタツムリに挑戦。子供さん及び親御さんそろって和気あいあい楽しく作られて居りました。

その間に21世紀の森スタッフにより流しそうめんの準備が完成、雨を心配して木工館のひさしを利用した対応で12時よりお客様全員で素麺(そうめん)をご賞味頂いた。

設定された素麺流しや用意された薬味等で流れてきた素麺を美味しく食べておられた姿が印象的でした。

13時30分に研修室に戻り志鷹所長の挨拶が有り雨の為竹林整備は中止と告げられ次回の機会に是非参加して頂きたい旨を告げアンケートの記入を頂き、完成したカタツムリを持って全員無事に散会しました。

(記 小沢 章男 ⑨)

◆ 県民参加の森林づくり 除伐

日 8月21日(日) 8:00~15:50、晴れ

場 相模原市緑区青根(学校林)

参 一般44名

財 豊丸課長、鳥海様、古舘様 看 青木様

スタッフ 県関係1名、相模原市公社2名、学校林関係2名 計5名

イ L 西出⑫、佐藤①、友谷①、高橋③、佐藤⑤、滝澤⑤、富樫⑥、永野⑥、松田⑦、阿部⑧、有坂⑧、

中元⑩、松永⑪、吉田⑪、澤村⑫、松石⑬

研 國弘⑭、小松⑭、小林⑭、鈴木⑭

前日の荒天が打って変わった青空が広がる中、8時40分、本厚木駅南口をバス5台で出発し、途中、鳥居原園地を經由して青根に着きました。10時から、青根小学校校庭でオリエンテーションを行った後、道具を配布し、歩いて5分程のスギ・ヒノキ林で作業を開始しました。気温も湿度も高く厳しい条件でしたが、参加者の皆さんには、こまめな水分補給を心掛けながら、作業に奮闘して頂きました。現場は、来年、間伐が予定されている所で、カエデ、ケヤキを残して除伐しましたが、見事に除伐された現場を見て、参加者の皆さんは、その成果に十分満足された様子でした。12時に作業を終了し、道具を手入れして、昼食となりましたが、地元の方々のご厚意による冷しうどんやスイカのおもてなしもありました。

午後は、近くの中学校に隣接するコミュニティーセンターで、相模原市の森林ボランティア、2団体の活動報告を聞いた後、14時20分に青根を出発し、鳥居原園地を經由して、15時50分、本厚木駅南口で解散しました。いつもの事ながら、暑い中、参加者の皆さんの労苦をいとわぬ努力に頭が下がる思いがしました。

(記 西出 健一 ⑫)

◆ 厚木市立森の里中学校

環境・エネルギー学校派遣事業 ～かながわ環境教室～

「木がためこんでいる二酸化炭素の量を測ろう」

日 8月31日(水)、晴れ

場 厚木市森の里3丁目35-1 厚木市立森の里中学校

参 森の里中学校1年2クラス 生徒64名と教師3名

イ L足立④、井出①、堀江④、高崎④、

松本⑧、加藤⑫、

総合学習の一環として学校内に植わっている樹木のCO₂の測定をいたしました。樹木は、校庭、中庭、校舎周りの3区合計60本を学校側に選定、番号付けを依頼し二名一組にて実施いたしました。開校31年を迎え高木(ケヤキ、サクラ、ヤマモモその他)が多かったためと持ち時間の関係や校庭が広く測定に時間を費やしました。

その後、PC(パソコン)に測定結果を順次入力し、スクリーンに自動計算された集計結果が反映されました。結果は、最多吸収量木=2,500kg、総CO₂年間吸収量=14,719kg、一本当たりのCO₂年間吸収量=245.3kg、学校

のCO₂総年間排出量(電気、LPガス、灯油、水道含む)=69,996kgで樹木が吸収する割合は、21%でした。発表後に生徒代表より感謝の挨拶がありました。

(記 加藤 久雄 ⑫)

◆ 県民参加の森林づくり活動 除伐ササ刈り

日 9月1日(木)9:40~12:00、晴れ

場 箱根町仙石原(小塚山トラスト緑地)

参 58人(男49人、女9人)

財 鳥海様、靱山様 看 小林様

イ L 菌田⑬、武者⑦、水津⑨、村井⑨、杉崎⑩、

波多野⑪、松永⑪、東⑫、大原⑬、小川⑬、古舘⑬

研 木村⑭、小貝⑭、藤井敏⑭、藤井世⑭、水野⑭

5台のバスに分乗してJR小田原駅から箱根町小塚山トラスト緑地に向かった。ポーラ美術館の横の広場で全体集会・準備体操を行いすぐ近くの作業地に入った。作業地は広葉樹の大木が日陰を作っている平地で、前方には高さ3~4mのササ林が延々と続いていた。昨年作業を行った跡地には、既に背丈の低いササが育っており、まずはこれを剪定バサミで刈り取った。その後、背丈の高いササ林に取り付きひたすら刈り取って行った。日陰地とはいえ、気温は30℃を越えており、熱中症にならないように30分~40分間隔で給水休憩を取った。

中央付近の前線に直径30~40cmの広葉樹の枯れ木が立っておりインストラクター数人がかりで伐採する一幕もあったが、全員無事に作業を終了することが出来た。

12時頃に作業現場で昼食を取り、ミーティングを行った。その後、バスで向かった箱根高原ホテルの温泉で汗を洗い落とし、すっかり元気を取り戻した。

(記 古舘 信生 ⑬)

◆ 横浜市立綱島小学校

環境・エネルギー学校派遣事業 ～かながわ環境教室～

「森が緑のダムになることがわかる実験」

日 9月7日(水)、晴れ

場 横浜市港北区 横浜市立綱島小学校

参 綱島小学校4年3クラス 生徒105名と教師3名

イ L足立④、堀江④、高崎④、加藤⑫、

総合学習の一環として標記内容を実験装置(A=木なし、B=木あり)と部材を持ちこみ午前に2回、午後1回の実験をしました。授業は、初めに生徒予想を試みその後

にA, Bへ8リットルの水入れとしました。水かけ、計量とも決められた生徒さんが担当しました。実験結果は、しみこんだ水の量、二か所から流れ出た水の量からBとAのしみこんだ水の量と比率(約何倍の雨水)を求めてもらい、『森が「緑のダム」になる』ことがいえることを理解してもらい森の大切を訴えました。一回目=2.5倍、二回目=2.5倍、三回目=2.7倍のため込みが判明しました。実験後に、水道管の蛇口までに至る水の経路、森・水の周辺の話もしました。反省として、利用回数が多いためB装置の表土水の濁りが薄いことがありました。生徒代表より良く理解できた発表がありました。

(記 加藤 久雄 ⑫)



◆ 横浜市立すみれが丘小学校 自然観察

日 9月8日(木) 9:30~12:00、大雨 気温 26°C

場 南足柄市 県立21世紀の森

参 小学5年生 71名 教師7名

イ L宮本④、井出①、白畑⑦、小沢⑨、村井⑨、大原⑬

台風で中止も覚悟したが、熱帯低気圧に変わったので、予定通り実施となった。下見で“雨バージョン”の打合せをしており、当日、“雨バージョン”の準備をしていたので、大雨ではあったが、予定通り活動に入れた。‘研修室’で、マイ箸を作るグループと、‘展示室(森林館)’で、林業について学習するグループに分かれた。マイ箸作りは、初めてのカンナ工作だったが、各自思い思いにマイ箸作りを楽しんだ。森林館での林業についての学習は、事前に用意されたワークシートの各設問を埋める為、各展示パネルの説明を自分自身で理解する必要があり、各々に学習の深化できたと思う。本来、「天然の森」コースを散策し設定したテーマの一つに、色々な種の勉強があったが、当日、簡易の展示ブースを作り、色々な種を用意し、種子の散布形態の説明をした。また、アキの葉っぱ文字、無患子を使った石鹸等の、ミニ実験も体験してもらった。大雨の中ではあったが、充実した学習ができたのではないかと思う。次の機会には、森を散策し、五感で楽しんでもらえたらありがたい。

(記 大原 正志 ⑬)

◆ 回胴式遊技機商業協同組合

下草刈り(平成19年度植樹の森)

日 9月10日(土) 11:20~12:40、晴れ

場 松田町 やどりき水源林内 (平成19年植栽地)

参 65名(大人52名・子供13名)

県 星様

イ L森本⑤、松本⑪、澤村⑫、立花⑭、牧石⑭

やどりき広場は秋、倉庫に向かう途中ヤマボウシ(山法師、ミズキ科)の赤い実が熟し見事です。インストラクターは9時30分到着、倉庫から作業道具を出し広場に人数分用意する。事前打合せを済ませ参加者の到着を待つ。

回胴式遊技機商業協同組合の皆さまは道路渋滞で到着は少し遅れた。開会式の挨拶を戴き、インストラクター紹介、作業の要点・注意事項を説明した。全体写真を撮り、班別(3班編成)に道具携行し出発、作業場所は広場の対岸で、川に仮設アルミ橋を架け班毎に渡河、安全対策で下流にインストラクター2名が立ち対応した、河原から上つたところフェンス内の広葉樹林で1・2班が、3班は外周で下草刈りを楽しんだ。

自生のハリエンジュ(別名ニセアカシア、マメ科)が多く、トゲ・怪我に注意しながら作業、子供達も鎌を持ち一緒に体験されました。12時過ぎ終了、作業あと眺め作業前の暗い林が明るく変わった。広場に戻り道具清掃し返納、作業終了。閉会式後に緑の募金をお願いしました。多くの募金ありがとうございました。12:40分インストラクター全員で皆様のパス見送りました。

道具類確認し倉庫へ返納、昼食摂りながら反省会を行い13時やどりきを後にしました。

(記 立花 康美 ⑭)

◆ 県民参加の森林づくり 下刈り

日 9月10日(土)9:00~12:00、晴れ

場 南足柄市 県立21世紀の森 平成25年度成長の森

参 大人19名(男性16名、女性3名)

財 鳥海様 看 小林様

イ L井出①、鈴木⑤、白畑⑦、斎藤⑧、天野⑨、波多野⑨、湯浅⑪、山下⑪、真貝⑪

研 岩田⑭、黒川⑭、南⑭

平成25年の成長の森事業で植栽した苗木(無花粉スギ)は、3年で3m以上に達するものもあり、立派に成長していました。今年2回目の下刈りですが、下草は夏の間に

かなり伸びていました。参加者は19名(募集50名)と少なく、予定エリアを3/4程度に縮小して作業を行いました。昨年この時期に実施したとき、スズメバチが出たとのことで、班毎にハチジェットを用意しましたが、案の定、伐採後の残木の中からスズメバチが10匹ほど表れ、ハチジェットで駆除し、この場所は避けて作業を行いました。今後の活動でも注意が必要です。

今年最後と思われる残暑の中、水分補給には十分気を付け、事故無く設定場所の作業を終えることが出来ました。

午後、参加者のうち希望者は、21世紀の森主権の木工体験(はし作り)を行いました。

(記 井出 恒夫 ①)

◆ 座間市自然保護思想啓発活動

(森づくりボランティア)

日 9月10日9:30~13:00、晴れ

場 座間市芹沢公園

参 大人37人、子供1人

スタッフ 市役所5人

イ L小野⑦、大塚⑪

天気に恵まれて快適な気候の中で、開会式の後、2班に分かれて作業現場へ異動しました。道沿いの緑地帯の下草刈りです。腰丈の笹や雑草が生えた道沿いの緑地帯を大鎌や手鎌で大奮闘。暑い中での作業でしたが、一時間程刈った後はさっぱりきれいに片づきました。最年少参加者は小学生の男の子で、たくさんのどんぐりを拾えました。作業後は鎌の手入れをしました。

昼食を摂りながら、森づくりの森と虫のミニ講義をして活動を無事終了しました。

講座終了後は、座間市より活動終了証と記念品、そして鈴虫のお土産を頂きました。

参加者の方も、普段利用している公園の緑をきれいに整備でき、とてもいい活動でした。

(記 大塚 晴子 ⑪)



◆ 三菱重工株式会社

やどりき水源林での各種活動

間伐、水生生物観察、草木染、森林癒やし

日 9月10日(土)、晴れ

場 松田町 やどりき水源林

参 (一般社員とその家族)34名 大人21名、子供13名

県 増子様、星様

イ L上田⑩、堀江④、草野⑧、小沢⑨、杉崎⑩、福島⑪、斎藤⑬、長尾⑬

10家族28名とスタッフ6名計34名の活動だった。午前と午後にまたがり間伐、森林癒やし体験、草木染、水生生物観察、丸太切りといろいろな活動があり、子供たちには楽しみのスイカ割りも行われた。

県の増子GLの挨拶の後、各活動グループに分かれて活動が始まった。

間伐は4名の参加であったが、少し太めの杉に挑戦した。間伐作業の基本に沿って各々が汗を流した結果、目標伐倒方向に正確に倒す事が出来大満足であった。

癒やし体験はBコース巨木林付近における樹梢の揺らぎによる癒やし、樹間でのハンモック体験などにより、社会の喧騒から解放された時間を過ごされました。

草木染はリーダーとともに染料となる草木採集から作業が始まり、染め上がって絞りの材料を取り外すと現れる思いがけない文様に興味津々でした。仕上がったハンカチーフを乾燥させるカツラの木の枝がとても賑やかでした。

午後からは溪畔林の溪流で水生生物の採集と観察、大人も子供も夢中で石の下やよどんだ淵で水生昆虫やプラナリアなどの採集と同定が行われた。

丸太切りはヒノキの間伐材を輪切りにし、サンドペーパーで表面を平滑に磨きコースターを作成した。

子供も大人も自然の中で思い思いの活動を通して水源林での1日を楽しんでいました。

(記 上田 啓二 ⑩)

◆ 横浜市立稲荷台小学校 間伐体験

日 9月14日(水)9:30~13:00、曇り

場 愛川ふれあいの村 体育館

参 小学5年生2クラス59名 教師6名 計65名

財 古館様

イ L佐藤⑤、有坂⑧、鈴木(敏)⑧、小沢⑨、村井⑨、松山⑩、小松⑭

長竹分収林での間伐体験が目的であったが、未明までの雨で体育館内でのクラフト(おはし作り)活動を実施した。職員から作り方の説明の後、およそ1cm角×長さ23cmのスギ素材2本を「切り出しナイフ」で削り、紙やすりで仕上げの作業に取り組んだ。インストラクターは6班に分かれて、ナイフの使い方指導と刃物でけがをしないよう注意にあたった。1時間ほどで完成させた一方、2時間でも1本しか出来上がらない子もいた。ナイフを使うことに不慣れた子も見受けられたが、木を加工する、木と触れ合う、木の温もりを感じる良い機会であった。途中、休憩タイムに気分転換を兼ねて班毎に森の話しなどを行った。11時半に作業を終了し、片づけ、おはしを持っての全員記念撮影のあと昼食、12時半から全員集合して、間伐のお話と山道具の紹介タイムを設けた。鈴木インストラクターの「小型チェーンソーを持ってみたい人？」との声掛けに長い列ができ、間伐への関心も記憶に残ったと思われる。13時バス出発時間が迫り、本日の活動はケガもなく無事終了となった。

(記 佐藤 武晴 ⑤)

◆ 横浜市立日下小学校 林業を体験しよう

日 9月15日(木)10:00~12:00、曇り
場 南足柄市 県立21世紀の森内
参 小学5年生87名 教師等10名
財 古舘様
イ L小野⑦、井出①、武者⑦、伊藤⑦、渡部⑦、野牛⑧、内野⑨、小沢⑨、村井⑨、杉崎⑩、古舘⑬、牧石⑭

朝方の雨もやみ曇り空でしのぎ易い天気となった今日の活動はどんぐりコース沿いのアオキの除伐を予定定刻前にインストラクター全員で予定個所を下見しての帰途、偶然オオスズメバチが径路脇の大径木の地際樹洞に営巣している箇所を発見、後尾を歩いていたインストラクターが被害に遭ったが手慣れた処置で大事に至らず安堵(ご本人は痛かったと思います)営巣箇所は径路から僅か2mほどしか離れておらず急遽学校側と協議し、場所を天然の森コース周辺での自然観察に変更し班別に巡回した。事前の下見も準備もないブツケ本番となったがそこはさすがインストラクターの皆さん・・・で生徒さん達も大いに楽しみ且つ勉強になった様である。

このことは幸い我々が巣を発見したことで場所を変更で

きたが気付かずに活動実施となった場合は大勢の賑やかな集団が巣の脇を通ることで蜂を興奮させ大事故につながった事必定でまさに幸運であった。

活動終了後の事務所長の話では駆除にかなり手こずった様で、急ぎ通行止の処置をとったが大変な数の集団だったとの事でした。この時期は蜂(ハチ)に十分な注意が肝要・実感です。

(記 小野 幸広 ⑦)

お詫びと訂正

2016年(平成28年)10月号の活動短信5ページに記載ミスがありました。お詫びを申し上げるとともに、お手数ですが合わせて訂正をお願いいたします。

誤) 一般財団法人神奈川法人連合会下草刈り活動

正) 一般社団法人神奈川県法人会連合会下草刈り活動

なお、ホームページの掲載はすでに訂正してあります。
かながわ森林インストラクターの会 広報部長 松本

投稿概略フォーマットと略語の説明

ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付 (できれば時間と天気も)

場 場所

参 参加者&人数

県 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター (○数字:期) 研:研修枠
以下本文

(以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)

リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者も自己チェックを怠らず!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いします

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
次掲載は12月号です。

森のめぐみ シリーズ

**やどりき水源林
ミニガイド**

10月のトピックス

今年の紅葉は遅いようです。
サルナシやアケビが食べごろです。



ホトトギス(花) 広場近く(10/15 松本)

11月の水源林

本格的な紅葉期です。11月一杯で
本年度のやどりき当番活動はお休
みとなります。お休み前に是非とも
おいでください。

「森の案内人」情報

- 実施時間：毎週土曜・日曜
AM10時・PM1時、1～2時間程度
- 集 合：水源林入口ゲート前
- 内 容：森林インストラクターが自然
観察にご案内します。森林のしくみ
手入れなどについて説明致します。
参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記ま
でご連絡ください。
- 問合せ：(公財)かながわトラス
ト みどり財団 TEL：045-412-2255
FAX：045-412-2300
- ホームページ： <http://www.ktm.or.jp>
- E-mail： midori@ktm.or.jp
- やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場
線松田駅下車、富士急湘南バス「寄
(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス
下車後(案内板あり)川沿いに徒歩
35～40 分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

「箱根の自然を守って50年」

講演会 入場無料・参加自由です

11月23日(水) 祝13時～16時30分

会場：神奈川県立生命の星・地球博物館

SEISAミュージアムシアター

挨拶：平田大二 (神奈川県立生命の星・

地球博物館館長)

講演：1.「箱根の自然保護50年」

田代道嗣 (本会理事・元強羅公園園長)

2.「箱根の動物今昔物語」

石原龍雄 (前箱根町立森のふれあい館館長)

3.「おもしろ箱根の植物」

勝山輝男 (前神奈川県立生命の星・

地球博物館学芸部長)

神奈川県立生命の星・地球博物館

〒250-0031 小田原市入生田499

Tel:0465-21-1515 Fax:0465-23-8846

◇ **森のなかま原稿募集** ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集し
ています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail：matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel：090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail：s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel：090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax：045-301-9401

電話連絡先：090-7962-3168

Mail：matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871 小田原市下堀 123

Tel/Fax：0465-42-7240

Mail：minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)

〒214-0006

川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax：044-944-9423

Mail：fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) [http://www.forest-](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

[kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

(HP担当：井出恒夫)

編集後記

★(9月22日の)土砂降りの箱根森林探
訪で厄落しをしたのか、(10月15日の)
大山は素晴らしい秋晴れとなりました。
(10月15日)

9月が異常気象だったから…かな…

(赤崎)

★これまでに無い長雨がやっと終わり、
外での活動ができて嬉しいです！！

(水口)

★昨年の10月愛犬を亡くしました。

以来ペットは当分飼わないつもりでし
たが来週猫が来る事になりました。

猫グッズの準備に大わらわです。

(菌田)

★ゆれて、ゆれて揺れまくる日本列島。
今度は島根県。若い頃小松左京さんの
日本列島沈没に刺激され、NHK教育テ
レビで竹内均さんの講義、力石さんの
本でいろいろ覚えました。

チリ、スマトラ、東日本が世界のビッグ3
の地震です。

やどりき案内当番時にどうしても枕状溶
岩やくずれやすい地質でフィリピン海
プレート等に力が入ってしまいます。

もちろん関東大震災から復興した神奈
川の森林のことも。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方
は、郵便局備付けの郵便振替を利用し
てお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛ま
でご寄附2000円をお振込み下さい。振
替用紙には、必ず、住所、氏名を明記し
て下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年
間お届け致します。

編集人： 松本 保

事務局： 福島 正治

広報部： 水口俊則 赤崎さほり

小川和恵 菌田栄哉

大塚晴子 小池 哉

支援 伊藤恭造 大原正志

江頭淑子

松田町キラキラフェスタ 11月下旬～予定

11月下旬、松田山がLEDのイルミネーションに
彩られると、恒例の松田きらきらフェスタがいよいよ
スタートします。夕闇せまる町から松田山を見上
げると、巨大なクリスマスツリーにみたくたハーブ館
(イルミネーション)が浮かび上がります。会場ま
での沿道にもLEDが飾りつけられ、西平畑公園ま
での道を光が導きます。日が沈んだ後、約18万
球のイルミネーションに彩られた西平畑公園のきら
めきと足柄平野の夜景が溶けあうと光と闇の夢幻
空間が広がります



山麓の オアシス

～お食事処～
美酒もお待ちしています

こまち